学校番号	1011

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅰ	単位数	３単位	年次	１年次
使用教科書	改訂版　最新　数学Ⅰ　（数研出版）						
副教材等	3ROUND 数学Ⅰ＋A　（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

数学的活動を通して，「なぜそうなるのか？」と関心を持つことを大切にしましょう。
そしてその「なぜ？」を粘り強く解決していきましょう。

学習方法：・授業の時間を大切にしましょう
その日習うことをしっかり体得してください。教員の解説を聞き、鉛筆を動かして問題を解き、自分の考えを発表したり、周りの人の意見を聞いたりしてください。
・復習の時間をとりましょう
できる限りその日のうちに、帰宅してからその日習ったことについて復習しましょう。５分程度で構いません。この積み重ねがあなた自身の学力向上につながります。

2　学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次の通り育成することを目指す。
（１）数と式、２次関数、図形と計量、データの分析についての基本的な概念が原理・法則を体系的に理解する。また、事象を数学的に表現・処理する技能を身につける。
（２）数学的活動を通して事象を論理的に考察する力、事象と他の事象との関係を考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。
（３）数学の良さを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え判断しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数と式、２次関数、図形と計量、データの分析についての基本的な概念が原理・法則を体系的に理解する。また、事象を数学的に表現・処理する技能を身につけている。	数学的活動を通して事象を論理的に考察する力、事象と他の事象との関係を考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現できる。	数学の良さを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え判断しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章 数と式	第1節　数と式 1　多項式 2　多項式の加法･減法･乗法 3　展開の公式 4　式の展開の工夫 5　因数分解 6　いろいろな因数分解	a:公式の意味や複雑な式が簡単に帰着できることを理解する。 b:式を目的に応じて変形することができ、式を多面的に考察することができる c:計算式を書き、解答しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題提出	課題提出 観察
		第2節　実数 7　実数 8　根号を含む式の計算	a:数を実数まで拡張することの意義や実数が数直線上の点と１対１に対応していることを理解するとともに簡単な無理数の計算ができる。 c:計算式を書き、解答しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題提出	課題提出 観察
		第3節　1次不等式 9　１次不等式 10　不等式の性質 11　１次不等式の解き方 12　連立不等式 13　不等式の利用	a:１次不等式の解を求めることができる。 b:不等式の理解を深め、式を多面的に捉えて問題を考察することができる c:計算式を書き、解答しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題提出	課題提出 観察
	第2章 集合と命題	3　命題と集合	a:命題を理解し、真偽を判定することができる。 b:命題の真偽を判定し、必要十分条件を判断することができる。 c:計算式を書き、解答しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題提出	課題提出 観察

2学期	第3章 2次関数	第1節 2次関数とグラフ 1 関数 2 関数とグラフ 3 $y=ax^2$ のグラフ 4 $y=ax^2+q$ のグラフ 5 $y=a(x-p)^2$ のグラフ 6 $y=a(x-p)^2+q$ のグラフ 7 $y=ax^2+bx+c$のグラフ 8 2次関数の最大･最小 9 2次関数の決定	a:２次関数の値の変化やグラフの特徴について理解する。 b:平行移動を利用して２次関数のグラフを描くことができる。２次関数の式とグラフについての事象を簡潔・明瞭・的確に表現できる。 c:２次関数とそのグラフの性質や特徴について関心をもち、２次関数の考察に活用しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題提出	課題提出 観察
		第2節 2次方程式と2次不等式 10 2次方程式 11 2次関数のグラフとx軸の共有点 12 2次不等式 13 2次不等式の利用	a:２次関数のグラフと関数の値の変化における基本的な概念を理解できる。 b: 最大値や最小値、２次方程式・２次不等式の解を求めることができる。 c:２次関数とそのグラフを用いることの有用性を認識し、日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ、考察に活用しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題提出	課題提出 観察
	第4章 図形と計量	第1節 三角比 1 鋭角の三角比 2 三角比の利用 3 三角比の相互関係 4 三角比の拡張 5 三角比が与えられたときの角	a:鋭角の三角比の意味と相互関係を理解し、ほかの三角比の値や鈍角の三角比の値を求めることができる。 b:図形の構成要素間の関係を、三角比を用いて表現する。さらに三角比の性質や相互関係を考察できる。 c:三角比を用いて直接測ることのできない長さや角度が求められることに関心をもち、考察に活用しようとする。	定期考査 小テスト	定期考査 課題提出	課題提出 レポート

3 学 期		第2節　正弦定理･余弦定理 6　正弦定理 7　余弦定理 8　三角形の面積 9　図形の計量	a:正弦定理、余弦定理を理解する。 b:正弦定理・余弦定理を用いて平面図形や空間図形の計量をすることができる。 c:定理の有用性を認識し、平面図形の計量に活用しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題提出	課題提出 観察
	第5章　データの分析	1　データの整理 2　データの代表値 3　データの散らばり	a:データの分析における基本的な概念、原理・法則などを理解する。 b:データを分析し、適切な公式を用いて、値を出すことができる。 c:平均値や中央値、箱ひげ図などを用いてデータの傾向を把握し、事象の考察に活用しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題提出	課題提出 レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度